

奈良県結婚・子育て実態調査

〔独身の方へのご質問票〕

ご協力 の お 願 い

初秋の候、あなた様におかれましてはご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この調査は、県民の皆さまの結婚や子どもを持つこと、子育てに対する意識や実態等を把握し、奈良県において子どもを生み育てやすい環境づくりを進める取組を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施いたします。この調査は無作為抽出により実施しておりますが、このたび、あなた様を調査対象者として選ばせていただきました。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本県の今後の子育て支援策を考えるうえで大変重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容につきましては、上記目的以外に使用することは一切なく、内容が他にもれることは絶対にありません。

どうぞ、安心してありのままをお答えいただきますよう、重ねてお願いいたします。

平成30年 9月

奈良県知事 荒井 正吾

〔記入上 の お 願 い〕

- 1 この調査票は18歳以上50歳未満の独身の男性および女性に答えていただくためのものです。おそれいりますが、対象となられる方ご自身がご記入ください。対象となられる方がいらっしゃらない場合は回答いただく必要はございません。
- 2 平成30年（2018年）9月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 3 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことがらを書き込むものがあります。
- 4 回答後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月到着分は9月24日（月）、10月到着分は10月24日（水）までにご投函下さい。（調査票や封筒には氏名を書かず無記名でお願いします）
- 5 なお、この設問は、全国との調査比較や本県での経年比較を可能とするため、それらの調査と設問の文言を合わせています。そのため、一部なじみにくい表現もありますが、ご理解ください。

お問合せ先 奈良県福祉医療部 こども・女性局女性活躍推進課
TEL:0742-27-8729

問1～3は、すべての方にかがいます。

問1 ①にあなたの出生年月を記入してください。また、②性別、③親との同居/別居について、あてはまる番号に○をつけてください。

① 出生年月	② 性別	③ 親との同居/別居
1. 昭和 2. 平成 _____年____月 3. 西暦	1. 男 2. 女	1. 親と同居している 2. 親と離れて（別居して）生活している 3. すでに亡くなられた

問2 あなたはこれまでに結婚（届出をしたもの）をしたことがありますか。（○は1つ）

1. ない	2. ある
-------	-------

問2-1 あなたに現在お子さんはいますか（成人を含む）。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②にお子さんの数を記入してください。

① お子さんが	② お子さんの数
1. いる 2. いない	() 人

あなたのお仕事についておうかがいします。

問3 あなたのお仕事についておたずねします。a, b の2つの時期について、それぞれ①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	① おつとめの状況							② 職 種							③ おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)			
	1 正 規 職 員	2 パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	3 派 遣 ・ 嘱 託 ・ 契 約 社 員	4 自 営 業 主	5 家 族 従 業 者 ・ 内 職	6 無 職 ・ 家 事	7 学 生	1 主 と し て 農 林 漁 業	2 農 林 漁 業 以 外 の 自 営 業	3 専 門 職	4 管 理 職	5 事 務 職	6 販 売 ・ サ ー ビ ス 職	7 工 場 な ど の 現 場 労 働	1 〜 99 人	2 100 〜 299 人	3 300 人 以 上	4 官 公 庁
おたずねの対 象の時期	1～7のあてはまる番号に○をつける。1～5に○をつけたときは右の欄に進む。							①で1～5に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける。							①で1～5に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける。			
a. 最後に学校を 卒業した直後※	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
b. 現在	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4

※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

現在お仕事をお持ちの方にうかがいます。お仕事をお持ちでない方は問5に進んでください。

問4 あなたの現在のお仕事について、次の①～⑩までの項目について数字を記入し、あてはまる番号に○をつけてください。

	あなたの仕事について (現在お仕事を <u>お持ちの方</u>)
① 1週間の平均的な労働時間(残業時間も含む)	週あたり平均 _____ 時間
② 年間の収入 ※(税込み)	1. 300万円未満 2. 300～400万円未満 3. 400～600万円未満 4. 600万円以上
③ 現在の仕事の継続年数	およそ _____ 年 1年未満は1年としてください
④ 今後の継続の見通し	1. 当分は今の仕事を続ける。 2. 転職の可能性有り 3. 退職の可能性有り 4. わからない
⑤ 平均的な家を出る(出勤)時刻	_____ 時 _____ 分頃
⑥ 平均的な帰宅時刻	_____ 時 _____ 分頃
⑦ 勤務日の睡眠時間	_____ 時間 _____ 分程度
⑧ 通勤時間(片道)	_____ 時間 _____ 分程度
⑨ 不規則勤務であるか (夜勤がある又はシフト制勤務)	1. 規則的な勤務 2. 不規則勤務

⑩ 2または3と回答した方は、予想される理由1つに○をつけてください。
 1. 仕事・職場の事情
 2. 結婚を機に
 3. 出産を機に
 4. 親族の介護のため
 5. 上記以外の事情

結婚についておうかがいします。

問5～8は、すべての方におうかがいます。

問5 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

<p>① 今のあなたにとって、結婚することは</p> <p>1. 利点があると思う</p> <p>2. 利点はないと思う</p>	<p>② 具体的な利点</p> <p>1. 経済的に余裕がもてる</p> <p>2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる</p> <p>3. 精神的な安らぎの場が得られる</p> <p>4. 現在愛情を感じている人と暮らせる</p> <p>5. 自分の子どもや家族をもてる</p> <p>6. 性的な充足が得られる</p> <p>7. 生活上便利になる</p> <p>8. 親から独立できる</p> <p>9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる</p> <p>10. その他（具体的に：</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">回答欄</th> </tr> <tr> <th>最大の利点</th> <th>第二の利点</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	回答欄		最大の利点	第二の利点		
回答欄								
最大の利点	第二の利点							

問6 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

<p>① 今のあなたにとって、独身生活は</p> <p>1. 利点があると思う</p> <p>2. 利点はないと思う</p>	<p>② 具体的な利点</p> <p>1. 行動や生き方が自由</p> <p>2. 異性との交際が自由</p> <p>3. 金銭的に裕福</p> <p>4. 住宅や環境の選択の幅が広い</p> <p>5. 家族を養う責任がなく気楽</p> <p>6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい</p> <p>7. 職業を持ち、社会とのつながりが保てる</p> <p>8. 現在の家族とのつながりが保てる</p> <p>9. その他（具体的に：</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">回答欄</th> </tr> <tr> <th>最大の利点</th> <th>第二の利点</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	回答欄		最大の利点	第二の利点		
回答欄								
最大の利点	第二の利点							

問7 下記に女性・男性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ最も近いと思われるタイプの番号を選択肢から選び、回答欄に記入してください。

(1) 女性の生き方のタイプ

女性の方へ

- ① あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 ② 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄 (回答はそれぞれ1つずつ)	
① 理想とする人生	② 実際になりそうな人生



男性の方へ

- ③ パートナー (あるいは妻) となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄 (回答は1つだけ)
③ パートナー (あるいは妻) となる女性に望む人生



選 択 肢	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 ()
-------------	---

(2) 男性の生き方のタイプ

男性の方へ

- ① あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 ② 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

男性回答欄 (回答はそれぞれ1つずつ)	
① 理想とする人生	② 実際になりそうな人生



女性の方へ

- ③ パートナー (あるいは夫) となる男性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

女性回答欄 (回答は1つだけ)
③ パートナー (あるいは夫) となる男性に望む人生



選 択 肢	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、子育てはパートナー (妻) にまかせて、仕事を中心とした生活を送る 4. 結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、できる範囲内で子育てにも参加する 5. 結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、積極的に子育てにも参加する 6. 結婚し、子どもを持つが、仕事はパートナー(妻)にまかせて、夫が仕事を辞め、家庭を中心とした生活を送る 7. その他 ()
-------------	--

すべての方にかがいます。

問8 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. いずれ結婚するつもり → 問9へ |
| 2. 一生結婚するつもりはない → 問14へ |

問9～13は、問8で1に○をつけた方(いずれ結婚するつもりの方)にかがいます。
2に○をつけた方は問14に進んでください。

問9 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. ある程度の年齢までには結婚するつもり |
| 2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない |

問10 あなたは何歳ぐらいのときに結婚したいと思いますか。希望する年齢を()内に記入してください。

自分が(.....)歳ぐらいの時に結婚したい

問11 あなたはどのようなきっかけで交際相手と知り会いたいですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 学校で | 8. 街中や旅先で |
| 2. 職場や仕事の関係で | 9. アルバイトで |
| 3. 幼なじみ・隣人関係 | 10. 民間の出会いイベントで |
| 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で | 11. 公的な出会いイベントで |
| 5. 友人や兄弟姉妹を通じて | 12. その他 |
| 6. 見合いで(親戚・上役などの紹介も含む) | () |
| 7. 結婚相談所で | |

問12 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。自分にあてはまると思われる最大の理由、第二の理由、第三の理由をそれぞれ1つ選んで、右の回答欄に番号を記入してください(すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12と記入してください)

- | |
|--------------------------|
| 1. 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2. 結婚する必要性をまだ感じないから |
| 3. 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから |
| 4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 6. 適当な相手にまだめぐり合わないから |
| 7. 異性とうまくつき合えないから |
| 8. 結婚資金が足りないから |
| 9. 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 10. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 11. その他
(具体的に:) |
| 12. すでに結婚が決まっている |

回答欄		
最大の理由	第二の理由	第三の理由

問13 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑤の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。また、その他に重視することがある場合は、⑥に具体的に記入ください。

	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
① 相手の経済力	1	2	3
② 相手の性格	1	2	3
③ 自分の仕事や生き方に対する理解と協力	1	2	3
④ 家事・育児に対する能力や姿勢	1	2	3
⑤ 価値観が合うこと	1	2	3
⑥ その他（具体的に： _____）			

現在交際している方にうかがいます。それ以外の方は問15へお進みください。

問14 現在交際している人と結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1.に○をつけた方は、右側②の障害になると思うことの中から、最大の障害と第二の障害をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

① 結婚するとしたら	② 障害になると思うこと	回答欄				
1. 障害になることがあると思う 2. 障害になることはないと思う	1. 結婚生活のための住居 2. 結婚式（挙式や新生活の準備のための）費用 3. 親の承諾 4. 親との同居や扶養 5. 学校や学業上の問題 6. 職業や仕事上の問題 7. 年齢上のこと 8. 健康上のこと 9. その他（具体的に： _____）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>最大の障害</th> <th>第二の障害</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </tbody> </table>	最大の障害	第二の障害		
最大の障害	第二の障害					

子どもに関することについておうかがいします。

問15は、子どものいない方にうかがいます。それ以外の方は問16へお進みください。

問15 あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。あてはまる番号に○をつけ、（ ）内に人数を記入してください。また、子どもを1人以上希望される方は、最初のお子さんを持ちたい年齢を（ ）内に記入してください。

① 希望する子どもの数	② 最初のお子さんを持ちたい年齢
0. 子どもはいらない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上（ _____ ）人	あなたが （ _____ ）歳くらいのとき

すべての方にかがいます。

問16 あなたは、子育てについて、どのように感じておられますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 楽しいと思う
2. 楽しいと思うこととつらいと思うことが同じくらい
3. つらいと思う
4. その他 (具体的に：
5. わからない |) |
|---|---|

問17 あなたの身近な状況について、おたずねします。以下の①～④について、右の欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、5に○をつけてください。

	1. あてはまる	2. どちらかといえばあてはまる	3. どちらかといえばあてはまらない	4. あてはまらない	4. 該当しない
① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった(よくある)	1	2	3	4	5
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う	1	2	3	4	5
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	1	2	3	4	5
④ 同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多い	1	2	3	4	5

結婚、家庭、子どもを持つことのお考え方についておうかがいします。

すべての方にかがいます。

問18 あなたの将来設計(いつまでに何をするか)について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 就職をいつまでにするか考えている
2. 仕事をいつまで続けるか考えている
3. 結婚をいつまでにするか考えている
4. 子どもをいつまでに持つか考えている
5. 上記1～4の将来設計は特に持っていない
6. その他 (|) |
|---|---|

すべての方にかがいます。

問19 結婚、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑬のような考え方を示しました。それぞれについて、あなた自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれ右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
④ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑤ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑥ 妊娠をきっかけとする結婚（いわゆる「授かり婚」）には抵抗がない	1	2	3	4
⑦ 子どもにはできるだけお金（十分な教育費用など）をかけたいと思う	1	2	3	4
⑧ 子どもがいたら生活は楽しくなると思う（楽しい）	1	2	3	4
⑨ 老後のことを考えると子どもはいた方がよいと思う	1	2	3	4
⑩ 子どもができると子ども中心の生活になるのは仕方がないと思う	1	2	3	4
⑪ 子どもは一人よりもきょうだいがいる中で育てたいと思う	1	2	3	4
⑫ 親にも子育てに協力してもらいたいと思う	1	2	3	4
⑬ 結婚していなくても、子どもを持って構わない	1	2	3	4

すべての方にかがいます

問22 奈良県は結婚して子どもを生き育てやすいところだと思いますか。①あてはまる番号に○をつけ、②③その理由について、あなたが感じている奈良県のイメージにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

①奈良県は結婚して子どもを生き育てやすいところだと思いますか
1. はい
2. いいえ



②「1. はい」の理由
1. 買物など日常の生活環境が整っているから 2. 通勤・通学に便利だから 3. 教育環境が充実しているから 4. 医療が充実しているから 5. 家賃など住居費が安いから 6. 治安を守るための対策が十分だから 7. 福祉サービスが充実しているから 8. 緑などの自然環境がよいから 9. その他（具体的に： _____）
③「2. いいえ」の理由
1. 買物など日常の生活環境が整っていないから 2. 通勤・通学に不便だから 3. 教育環境が充実していないから 4. 医療が充実していないから 5. 家賃など住居費が高いから 6. 治安を守るための対策が不十分だから 7. 福祉サービスが充実していないから 8. 緑などの自然環境がよくないから 9. その他（具体的に： _____）

問22-1 問22①で「2. いいえ」と答えた方に伺います。結婚して子どもを生き育てやすいと感じる地域はどこですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大阪府	2. 京都府
3. その他近畿圏内（三重県含む）	4. 東京圏
5. その他（ _____ ）	

本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化などにつきまして、ご意見等がございましたら、下記の欄にどのようなことでもご自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

回答後の調査票は同封の返信用封筒に入れ、9月到着分は9月24日(月)、10月到着分は10月24日(水)までにご投函下さい。(調査票や封筒には氏名を書かず無記名でお願いします)

お問合せ先 奈良県福祉医療部こども・女性局女性活躍推進課
TEL:0742-27-8729

奈良県結婚・子育て実態調査報告書

平成 31 年 3 月

編集・発行 奈良県福祉医療部こども・女性局
女性活躍推進課

〒630-8501 奈良市登大路町 30

電話 0742-27-8603

